

1 第1期計画の振り返り

(1)第1期計画の概要

- 平成23年3月11日に発災した東日本大震災では、町の約4割が地震による津波にのまれ、壊滅的な被害を受けました。町では、震災からの復旧、復興、創生に向け、山元町震災復興計画（第5次山元町総合計画）を策定し、全力でまちの再生、発展に向けた取り組みを行ってきました。

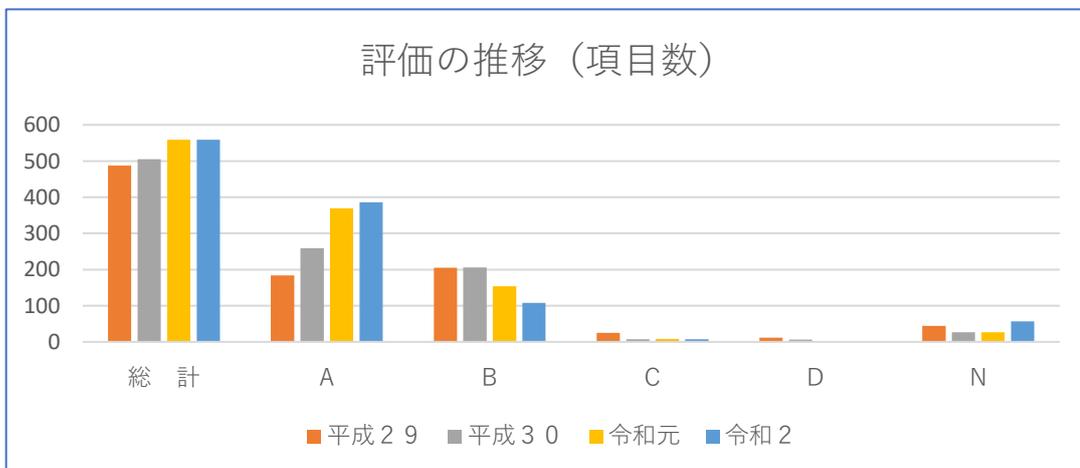
教育委員会では、町の施策と連動し、各年度で「山元町教育基本方針」を定めて施策等を行ってきましたが、本町における教育振興を総合的かつ計画的に進めていくため、平成29年3月に第1期教育振興基本計画を5か年の計画として策定し、積極的に教育施策の推進に努めてきました。

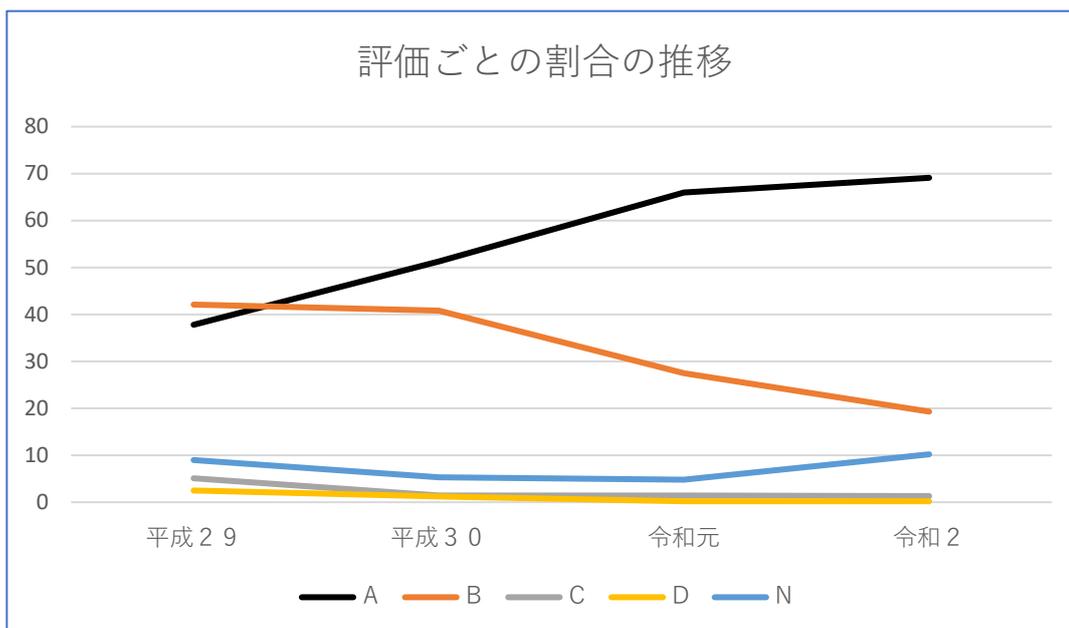
しかしながら、学校教育を取り巻く環境の変化は目まぐるしく、多くの新たな課題への対応が求められるようになりました。第2期宮城県教育振興基本計画（平成29年度から令和8年度まで）、第6次山元町総合計画（令和元年度から10年度まで）が策定され、子どもと学校教育を取り巻く環境が大きく変化し、5年計画の4年目を前に小・中学校再編や学校教育の充実等を視野に入れた改訂を令和2年3月に行いました。

(2)点検評価の状況

- 教育委員会では、年1回取組状況についての点検評価を実施してまいりました。関係部署や各学校の各年度の取組状況のまとめを見ると、概ね以下のようになっています。

山元町教育振興基本計画(アクションプラン)点検評価のまとめ(平成29年度～令和2年度)





評価について:A-達成度 90%以上、B-70%以上、C-40%以上、D-40%未満、N-評価不能の項目

教育振興基本計画当初 4 年間の点検評価表の傾向をみると、初年度（平成 29 年度）は B 評価が最も多く 42.1% でしたが、翌年度は A 評価が 51.3% と過半数を超え、令和 2 年度には 69.1% まで増加しています。各学校での実践が進み順調な教育活動の展開がなされてきています。

(3)第 1 期計画の主な成果と課題

成果

- ・復興の進行と各学校におけるしっかりとした教育活動の実施・運営
- ・「震災遺構 中浜小学校」の整備による震災の脅威の伝承と防災意識の向上
- ・小・中学校再編検討や準備の進展および中学校再編 など

課題

- ・児童生徒の学力の向上と「分かる喜びのある授業」実践
- ・防災教育の先進地としての更なる努力と学校再編のための入念な準備
- ・時代の要請に応えた教育推進（ICT など） など